

この新聞は、思いついたまま、流通経済大学の中で起きたことを「勝手に」取材し、気楽に編集して発行するメディアです。  
〈略称: つなしん、と呼んでください〉

# RKU つながる新聞

2023年(令和五年)  
12月21日木曜日  
第5号

(気ままに、不定期発行です)

## 新松戸幼稚園が流经大で観劇会

### 園児ら約五百人が講堂に集合!

流通経済大学(上野裕一学長)と連携協定を結んでいる松戸市の新松戸幼稚園(寺田美子園長)が十九日、同大学新松戸キャンパスの講堂で「親子で人形観劇会」を行い、五百人を超える園児や保護者が人形劇「赤ずきんちゃん」を楽しんだ。新松戸幼稚園が同大の施設を使って行事を行うのは初めて。

「人形観劇会」は同園が毎年、市の施設や園内の教室で行ってきたが、協定締結を機に、年少組から年長組までが一同に会して、観劇



観劇会の終了後、園児とハイタッチする社会学部3年生ら

会を行うことになった。実施にあたっては流经大の学生も参加、社会学部の佐藤ゼミ、米原ゼミ、龍崎ゼミのほか、駅伝部の学生などおよそ六十人が、入場時の園児らの誘導やトイレの案内など、裏方役を務めた。人形劇では五人の同園の教諭が赤ずきんちゃんやオオカミ、おばあちゃんなどの役を務め、迫真の声色に園児たちの歓声や呼びかけが飛び交った。

また開演の冒頭、寺田園長の「みんなは今準備されたのは、学生が企画したアトラクション。園児が訪問したディズニースーランドに、近くクリスマス掛合わせた「お楽しみ」を披露した。ディズニークラクターのシルエツトクイズの後、ステージに学生が登場。頭にキャラクターのカチューシャをつけて、園児たちと「ジャンポリミッキー」のダンスを楽しむ

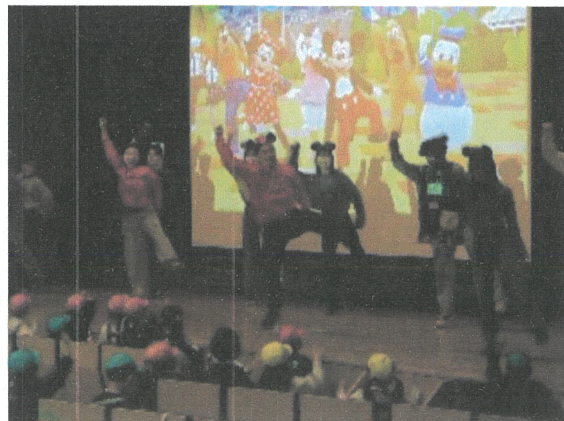


エンタランスで誘導作業を行う駅伝部の選手たち

どこにいてもわかるかな」の質問に「りゅうつうけいさいだいがく」と園児たちが一斉に答えるなど、流经大関係者の胸を熱くさせるシーンもあった。

### 「ダンス」に「歌」に、学生と園児が一体に

「子どもたちと一緒に楽しんでほしい」こんな幼稚園側からの要望に、社会学部の学生が奮闘した。メインの「人形劇」のあとに準備されたのは、学生が企画したアトラクション。園児が訪問したディズニースーランドに、近くクリスマス掛合わせた「お楽しみ」を披露した。ディズニークラクターのシルエツトクイズの後、ステージに学生が登場。頭にキャラクターのカチューシャをつけて、園児たちと「ジャンポリミッキー」のダンスを楽しむ



「ジャンポリミッキー」に園児も盛り上がる

観劇会のメインは新松戸幼稚園の先生方が演じる人形劇「赤ずきんちゃん」。開演の1時間以上前から園児と保護者の方たちが続々と流经大キャンパスに集まり、会場の講堂はほぼ満席状態になった。

劇を演じるのは同園の五人の先生。細やかな人形の動きに合わせて、巧みな声色を駆使する迫真の舞台に、園児たちの心はステージ上に引き寄せられた。劇の進行に合わせて園児たちの「危ない!」とい

一体感に包まれた。最後は、「赤鼻のトナカイ」の大合唱で締めくくった。

### 迫真の演技「赤ずきんちゃん」に、大歓声

う声が飛び交うなど、ステージと観客席がひとつになって盛り上がった。



た。人形劇の後はこの秋に年長組の園児が訪れたディズニースーランドのアトラクションを振り返り、再現する園児たちの活動が映像で紹介された。「遊びの中に教育がある」という同園のモットーを具体的に示す内容に、園児ばかりでなく保護者の方々も見入っていた。社会学部三年の大竹智也さんは「子どもたちからパワーをもらいました」と話していた